

<新型コロナウイルス感染症対策について>

新型コロナウイルス感染症対策について、県が留意すべき事項を報告しています。

一つは、「無症状であっても症状が悪化する場合がある」こと、県の調査では重症化が26%、このため県では陽性者全員に入院していただいているとのこと、

二つ目は、「他者へ感染させる期間」は、発症前後が最も多くて最長でも発症10日後、通常発症後10日は入院期間で、退院された方が他者に感染させた事例はないため、退院後2週間は健康観察するが自宅待機は求めず社会復帰していただいているとのこと、

三つ目は、「濃厚接触者へのお願い」、濃厚接触者が検査で一旦陰性であっても最長14日後に発症した事例もあることから、濃厚接触者には2週間の自宅待機と自宅待機期間中他の人と接触しないようお願いしているとのこと、の3つです。

県民の友2月号で紹介されていますので、ぜひお読みください。

デイ便り



まだまだ寒さ厳しい2月ですが、デイサービスわかばでは春です。朝のレクリエーションでは笑いがいっぱいです。

2月の壁画作りは節分の鬼を貼り絵として製作しました。途中鬼を「牛かあ?」と言われたり、金棒を魚と間違ったり、仕上がりは「節分の鬼やったんや!」と大笑いでした。今年は2月2日(火)が節分でした。なんと124年ぶりだそうです。

介護職員募集

特養わかばでは、介護職員を募集しています。

- 正職員(介護福祉士資格お持ちの方歓迎)
- 非常勤職員 (特養は朝7時から
デイサービスは午後1時から、どちらも
3時間程度勤務可の方)

◎ご紹介いただける方、直接のお問い合わせ等
施設長まで。TEL 073-475-0015

「いのちの相談電話」開設

和歌山県民主医療機関連合会(民医連、和歌山中央医療生協の医療・介護の事業所や特養わかばが加盟、事務所は和歌山市紀三井寺)は、新型コロナウイルスの影響で、生活が困窮し、医療・介護が受けられなくなった人の相談にのれるよう、「いのちの相談電話」(0120・999・530)を開設しています。受付は月～金の午前10時～午後5時、同会事務局の職員が対応します。

編集後記

コロナウィルスのパンデミックはまだまだ収束する気配がありません。感染の拡がりも身近で聞くようになってきました。毎月発行のわかば新聞にもこの1年ほどは、コロナの話題がない号はありません。そんな中でも先月はクリスマス、今月号は、節分の行事を載せることが出来ました。面会は直接手をふれることができないガラス越しの状態がずっと続き、ご本人ご家族共に心が満たされないのだろうなと思います。

わかば新聞のアーカイブを見てみると、毎年の行事で、入所者の皆様の今より少し若かった笑顔がまぶしいです。職員も笑顔です。また心から笑い合える日々が一日も早く戻ってくることを願います。(A・M)